



車椅子から洗身台へ

ヒノキのスロープを使用してお風呂へ移動



浴槽に横付けした洗身台へ



立位の取れる方は、浴槽縁につけた簡易手すりを持って洗身台へ。介助者のご利用者の力を最大限に活用するため、後ろから介助



座位の安定している方はヒノキの洗身台へ
不安定な方は、背もたれ・肘掛け付シャワーチェアへ



座位の取れないかたは、リクライニング機能付きシャワーチェアへ



それぞれ適した洗身台に座って洗身。全介助だった方がご自分で洗えるようになった例もあります



洗身台から浴槽へ

ここがポイント！
洗身台と浴槽の高さが同じなんです



片足ずつ浴槽に足を入れます



洗身台と浴槽の高さが同じなので、足さえ入れてしまえば、あとはお尻をずらして入るだけ



ざぶんとゆったりお湯に浸かることができます



浴槽内での姿勢

浴槽が深い場合は浴槽内の下部にヒノキの板を差し込みそこに座ります



浴槽が広くて足が浴槽壁に届かない場合は、足台を横にして沈め、そこに足をつけます





↓

座位が不安定な方には横に座って頂き、面積を狭くしブロックする箇所を増やします



↘

介助者をご利用者の両脇に手を入れて足をブロックしながら前かがみになるように立っていただく

浴槽から洗身台へ



足を引いて頂き、前かがみになることでお尻が浮くので、介助者は後ろから支えます



お湯の浮力で重さは感じないので、ぎりぎりまで身体を上げることが出来ます。浴槽の外にお尻が出る瞬間のみ力を入れて洗身台に座って頂く。介助者一人で難しい場合は、もう一人の介助者がお尻を支え、一緒に力をいれることで力を使わず行えます。



↓

洗身台に腰をかけます
その後、入る時同様に足から出ます

浴槽出入り B



浴槽出入り A

ご自分で入ることが難しい方には、介助者をご利用者の足を順番に浴槽内に入れます。介助者も片足を浴槽内に入れ、ご利用者の両脇に手を入れてお尻を浴槽内にスライドします。



さらにむずかしい方は、二人介助で行います。介助者の一人はご利用者の背中側に立ち後ろから両脇に手を入れ、もう一人は両腿または臀部の辺りを両手で持ち、二人で持ち上げるようにして浴槽内に入ります。



↓

浴槽に入ると浮力で介助者に力は必要ありません。ゆっくりぎぶんと入って頂きます



↓

ゆっくりぎぶんと入ります。



↓

洗身台に上がる時は、介助者が再度片足を浴槽内に入れ、膝小僧どうしをくっつけ、足が浮かないようにブロックします

↗



↓

浴槽内での座位を安定させます。出る時も入る時と同様にします。